

番号	資料	ページ	ご意見・ご質問内容	回答
①	資料1	1	「目的達成度評価」については、これまでから「目的達成のめやすとなる数値」はできる限りアウトカム指標とするよう意見を述べてきたが、残念ながらほとんど「アウトプット指標」となっている。また、「ボランティア活動センター登録団体数」のように基準値を下回る目標値が掲げられており、妥当な数値目標とは言い難いものも散見される。さらには、前回の会議で委員長から「チャレンジング」な数値目標をと呼びかけられていたものの基準値に対して目標値が3倍程度のチャレンジングものもほとんどなく、概して手堅い目標とされていることも残念である。	今後、4年間の推移を注視しつつ、次期評価表について検討してまいります。
②		1	「目的達成度評価」の説明で「地域社会実現目的の観点から」という表現が見られるが、意図がわからない。「地域福祉実現」の観点からの間違いではないか。	脱字がございました。正しくは、「地域社会実現目的の」⇒「地域共生社会実現の」となります。
③	資料2		<p>(P.6)「防災出前講座」の指標としては、実施回数と受講者数も指標として評価すべきと考える。</p> <p>(P.10)「安全・安心まちづくり推進事業」の指標としては、防犯講演会の参加人数も指標として評価すべきと考える。</p> <p>(P.13)「障害者スポーツ大会の開催」の指標としては、少なくとも「開催回数」とすべきと考える。</p> <p>(P.29)「バリアフリー上映会」は「参加人数」も指標とすべきではないか。</p> <p>(P.34)「宇治福祉のつどいの開催」で評価の指標として「表彰状授与者(名)」「感謝状贈呈(件)」とされているが、指標としてなじまないのではないか。</p> <p>(P.42)「ヤングケアラー対策事業」の指標として「コーディネーターの配置数」や「学校への派遣回数」などとすべきではないか。</p>	<p>推進のめやす本編では、各実績欄は指標としてではなく、あくまで各年度の実績数字として可視化に努めているところです。</p> <p>※各課によって実績の判断等にずれがありますので、次年度に向けて実績の統一を図れるよう調整してまいります。</p>

番号	資料	ページ	ご意見・ご質問内容	回答
④	資料2		<p>ア:(P.3)「小・中学校学校施設・大規模改造事業」の評価が★★となっているが、施設整備が遅れているなどの理由があるのか。</p> <p>イ:(P.25)「空き店舗活用支援事業」のように令和4年度実績がなかった場合、ニーズそのものがないのか、たまたまその年だけ実績0であったのか、事業の存続にも影響するので、そのあたりを分析した評価をすべきではないか。</p> <p>ウ:(P.30)「ふれあいサロンでの交流の場づくり」がなぜ、★★の評価なのか。</p> <p>エ:(P.34)「地域福祉推進事業」の指標とされている「地域福祉推進委員会」の開催回数は、指標としてなじまないのではないかと。また、出前講座の実施回数が1回なのに★★★と評価されているのはなぜか。</p> <p>オ:(P.44)「ひとり親家庭等福祉生活資金貸付金」の貸付実績がなかったのは、ニーズそのものがないのか、たまたまその年だけ実績0であったのか、事業の存続にも影響するので、そのあたりを分析した評価をすべきではないか。また、なぜ、評価が★★★なのか、理解できない。</p>	<p>ア:予定通り工事実施に向けた設計が行われており、評価「★★★」に修正いたします。</p> <p>イ:商店街に対し制度の周知等を行っているが問い合わせ等は無く利用に繋がっていない状況です。</p> <p>ウ:取組を行っていない学区もあることから、事業の実施はしているが取組が広がる余地が見込まれる事等、目標をもう少し高く見ておりましたが、事業としては、計画通り実施されているため評価を「★★★」に修正いたします。</p> <p>エ:出前講座の開催は事業の一部であり、事業全体で見た場合には、地域福祉推進委員会の開催や地域福祉計画の進行管理を含めた形となります。よって、事業全体の実施状況を評価した場合は、計画的に実施されているため、評価は「★★★」としています。</p> <p>オ:相談・貸付はなかったものの、事業は継続実施していたため、評価を一部実施の「★★」に修正いたします。</p> <p>※各課によって評価の判断等にずれがありますので、次年度に向けて評価の統一を図れるよう調整してまいります。</p>
⑤		1	<p>事業名 『人権啓発事業』 人権啓発課</p> <p>「人権啓発事業」の成果・実績で「参加人数が減少したものの」と記載されているが、資料1によれば令和3年の数値(1168人)よりも令和4年は1420人に増えている。</p>	<p>「参加人数が減少」という表現は、昨年度との比較ではなく、定員制限の無い状態での想定に参加人数に対し減少しているとして記載したものです。一方で、資料の数値からのみでは減少とは読み取れないため、実績の記述について補足説明等を追加する、または数値の推移に従った実績の記述とするなど、分かりやすい資料となるよう担当課と調整いたします。</p>
⑥		8	<p>事業名 『犯罪被害者等支援事業』 総務課</p> <p>「犯罪被害者等支援事業」の成果・実績で「本でリングプロジェクト」となっているが、「ホンデリング」なのではないか。</p>	<p>ご指摘のとおり「ホンデリング」プロジェクトとなります。</p>

番号	資料	ページ	ご意見・ご質問内容	回答
⑦	資料2	18	<p>事業名 『生活支援体制整備事業』 長寿生きがい課</p> <p>「生活支援体制整備事業についてですが、多様な支援内容ボランティアの仕事としては大変すぎると聞くことがあるため、「有償ボランティア」にすることは難しいでしょうか？ また、自宅から近い場所に限定することはできるのでしょうか？</p>	<p>生活支援体制整備事業は、高齢化や少子化などの影響に伴い、専門職等の担い手不足が今後顕在化していくことが予想される中であって、本来なら専門職によらなくても解決できる生活の中でのちょっとした困りごとを、地域の力で解決できるような仕組みづくりを進めるため、地域における多様な主体が参加する協議を実施したり、ボランティアの育成や、活動団体の立上げ・活動支援などを行っている事業です。</p> <p>ご質問の内容は、訪問Bの団体で活動されているボランティアの方に関することと思われませんが、令和6年2月現在、3団体ある訪問B活動団体のすべてが、有償ボランティアという形で活動いただいています。</p> <p>また、ボランティアとして登録されている方のお住まいや得意なことなどにも配慮しながら、活動場所などを決めておられるとお聞きしています。</p> <p>従いまして、例えば、「自宅から近いところで活動したい」という希望があれば、その希望にできるだけ合うような形で活動していただくことも可能であると考えております。</p>
		30	<p>事業名 『地域ひとつなぎ事業助成による小地域福祉活動への支援』 宇治市社会福祉協議会</p> <p>「地域ひとつなぎ事業助成による小地域福祉活動への支援」についての手続きや書類記入は難しいものでしょうか？</p>	<p>ここ数年は5月の概ね1か月間が受付期間となっています。申請書類は、団体の概要を記入する用紙と、年間の活動計画(事業内容、対象者数等)を記入する用紙の2枚組となっています。</p>
⑨		36	<p>事業名 『在宅ねたきり者等訪問指導事業』 健康づくり推進課</p> <p>「在宅ねたきり者等訪問指導事業」は実績がなかったとのことだが、そもそもニーズがないのか、広報の方法などに課題があるのか、わからない、そのあたりの分析もすべきではないか。</p>	<p>40歳以上、65歳未満の制度の狭間を補う事業として実施しているが、対象者の把握は十分ではないと考えています。他機関とも連携し、対象者の把握に努め、合わせて事業周知方法についても再検討していく必要があります。</p>

番号	資料	ページ	ご意見・ご質問内容	回答
⑩	資料2	41	事業名 『新たな活動団体の立ち上げ相談や民間助成金の情報提供と活動支援』 宇治市社会福祉協議会	様々な財団等から、子育て、障がい、高齢者、まちづくり、活動備品助成等の様々な助成金の案内が届きますので、その内容に近い活動をされている団体等に助成金情報の提供を行っています。助成額や申請書類については各助成金要綱により様々です。助成金を申請をする際に、地元社協の推薦文を必要とする場合が多々ありますので、実際に助成金申請の手続きをされる場合は、その団体の活動経過や内容についてお話を伺い、推薦文を作成しています。
			地域福祉活動団体の立ち上げや活動費用の助成金はどれくらいでしょうか？ また、書類など手間がかかるものなののでしょうか？	
⑪	資料2	41	事業名 『生活のちょっとしたお困りごとをサポートする生活応援隊活動の実施』 宇治ボランティア活動センター【事務局回答】	各課によって成果実績の判断等にずれがありますので、次年度に向けて成果実績の統一を図れるよう調整してまいります。
			「生活応援隊活動の実施」のようにどのようなことにニーズがあるのか、こうした分析をほかの事業でもしてほしい。	
⑫	資料2	48	事業名 『不登校児童生徒支援事業』 教育支援課	不登校児童生徒支援事業において、Ujiふれあい教室に配置している「コーディネーター」であり、コミュニティスクールコーディネーターとは異なります。「支援員等」についてもUjiふれあい教室に配置し、通所する児童生徒の支援を行っています。
			「不登校児童生徒支援事業」の「コーディネーター」は、「コミュニティスクールコーディネーター」のことか、「支援員等」についても教えてほしい。	
⑬	資料2	54	事業名 『宇治市ホームページ及びSNSの運営』 秘書広報課	アライド・ブレインズ株が実施する「A.A.O.ウェブサイトクオリティ実態調査」を一つの指標としています。全国862自治体公式ウェブサイトの公開されている全ページを対象に評価するもので、A～Eの5段階(2021まではA～Iの9段階)で評価。「D」以上が公共機関に求められている品質となり、宇治市は「D」レベルを維持しています。
			「宇治市ホームページ及びSNSの運営」の成果・実績で「公共機関に求められているレベルを実現している」とのことだが、詳しく教えてほしい	

令和5年度第2回宇治市地域福祉推進委員会 事前質問まとめ

資料5

番号	資料	ページ	ご意見・ご質問内容	回答
⑭			宇治市内における「自殺」の現状がどのようになっているのか、条例策定以降増えているのか、減っているのか、その原因などについて、教えてほしい。	宇治市での過去5年の自殺者数は、平成30年には21人、令和元年には21人、令和2年には20人、令和3年には27人、令和4年には24人となっており、男女別の割合では約65%が男性となっております。また、年代では男性は40～50代、女性は70代以上が多くなっております。自殺の理由・原因については統計に現れておりませんが、その背景には仕事上の悩みや健康上の悩み、生活困窮、家族関係の悩みなどの原因があるのではないかと考えているところでございます。 なお、自殺に関する条例はありません。
⑮	資料 4		事業名 『自殺対策庁内推進体制の構築』 地域福祉課	
1		「自殺対策庁内推進体制の構築」で「自殺対策推進本部会議」「庁内連絡会議」の開催がなぜ、されなかったのか、記載がないので評価のしようがない。	必要な連絡や情報共有については会議の開催に代えて、関係各課との個別調整や文書配布等で行いました。来年度は宇治市自殺対策計画の最終年度となりますので、次期計画策定にむけた会議の開催を予定しています。	
⑯			事業名 『健康づくり・食育推進事業』 健康づくり推進課	
8	「健康づくり・食育推進事業」の2022年度の評価で「事業目標を達成できたと思う」とされているのになぜ、Bという評価なのか。	事業において95件の各種取組を行っており、市民向けの「からだメンテナンス講座」、「レディース講座」の参加者アンケートで満足を得られているが、参加人数が少なくリピーターが多い傾向にあり、新規層の獲得に向けた広報が課題と考えています。		
⑰			事業名 『少年補導活動』 教育支援課	
12	「少年補導活動」において、なぜ、Bという評価なのか。	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、一部事業を中止した点とブロック補導等の補導活動の実施方法や場所等に課題がある点により、B評価としています。		

番号	資料	ページ	ご意見・ご質問内容	回答
⑱	資料 4	13	事業名 『中小企業交流促進事業』 産業振興課	
			「中小企業交流促進事業」において、なぜ、Bという評価なのか。	中小企業交流促進事業において、宇治市産業戦略の目標に掲げている異業種交流会開催数が未達成であったため(目標:年36回、実績:17回、理由:産業会館外壁等改修工事の影響により令和4年度は産業会館使用不可期間があったことなど)。